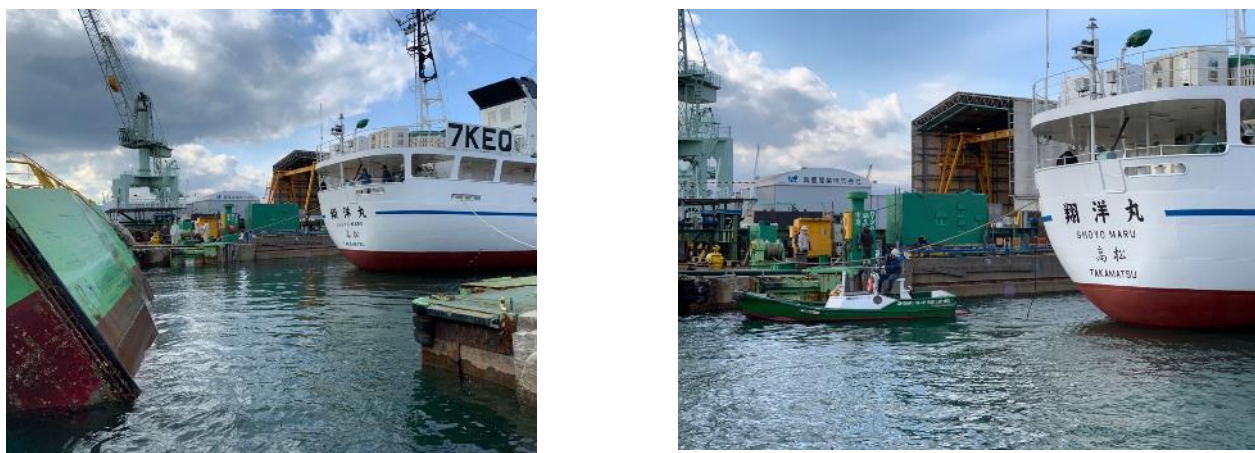


## 第2次遠洋航海に向けドック出し（出渠）2020.12.18

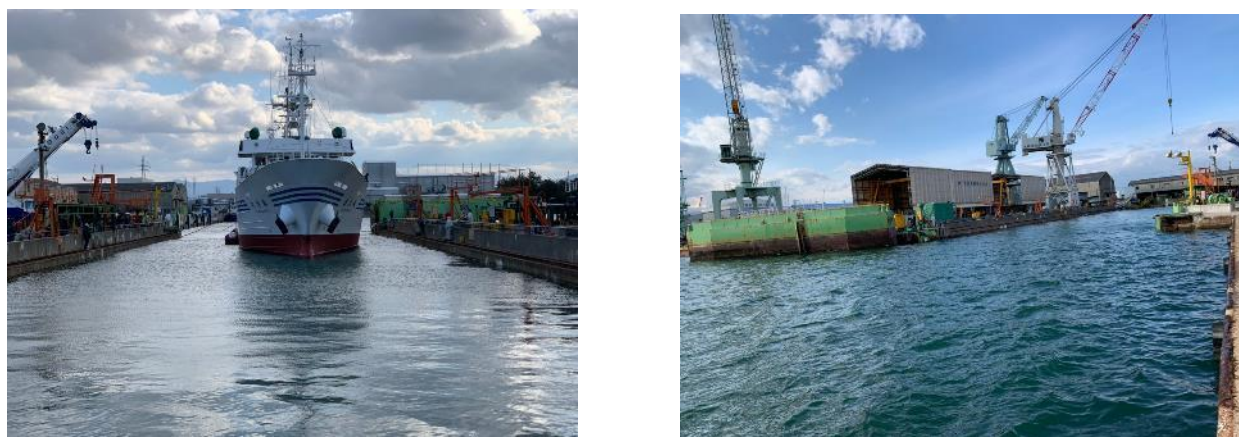
上架して3週間が経ち、整備工事や船底などの塗装工事が順調に終わりました。



水を抜いていたドックに注水を開始し、徐々に海水がドックに入り翔洋丸が浮かび始めました。



翔洋丸が完全に浮き上がり、異常がないことを確認して、海とドックを仕切っていたゲートを外します。



ゲートを外した後は、造船所の皆さんが総出で、慎重にボートやウインチを使いながら翔洋丸をドックから引っ張り出していきます。翔洋丸のいなくなったドックは空っぽになり海の一部になりました。

ドックは、このあと水を抜き次の船が入ってくるのを待ちます。

翔洋丸は、年内は外回りの塗装や船内の機器点検や整備作業を行います。  
年が明けて1月8日に飲料水を積込んだのち、多度津港に回航して、船底にあるタンクいっぱい燃料油を積み込みます。翌9日午前米や野菜、肉など乗組員や教員、生徒合わせて71名の65日分の食料などの積み込み実習を行い、午後から個人の荷物を積込んで出港への準備を完了します。そして10日14時から出港式を行い、多度津港を出港します。